

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実	政策の 目指す姿	生活に必要な基盤が整い、 快適に暮らしています	施策 主管課	都市政策課	施策主管 課長名	佐々木 賢二
	施策No.	2	施策名	公共交通の確保	施策の 目指す姿	公共交通が利用しやすくなっ ています	関係課名	観光課		
	現状と課題	・利用者の減少により、民間及び市自主運行バス路線の廃止や減便が増加し、利便性の低下が進行しています。 ・本市では、予約に応じて運行する予約応答型乗合交通や市街地循環バスを運行してきましたが、徐々にその利用しやす さが浸透し、他の地域からも運行の要望があります。 ・花巻空港の航路や便数を増やすなど、その利便性を高めるためには、利用者の増加が課題となっています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1)利便性の高い公共交通の確保 ○市営バス、市街地循環バス等の自主運行バスの運行 ○新花巻駅駐車場の整備と適正な管理(舗装・有料化) (2)航空便の利用促進 ○航空便の増便に向けた関係機関への要望活動 ・全国民間空港関係市町村協議会や岩手県市長会等を通して、国や航空会社への要望実施 ○空港利用促進のためのPR強化 ・岩手県空港利用促進協議会等との連携による就航先都市等でのPR

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測 ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握す るのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
公共バス(市運営、民間運営)の利便性に満足している市民の割合(A-1)	市民の身近な公共交通であるバス(民間運営、市運営)の利便性満足度を示す指標	市民アンケート測定「普段の生活の中で利用する下記項目の基盤整備状況に満足していますか？」④公共バス(民間路線バス、ふくろう号、デマンドタクシー等) (1)満足、(2)どちらかといえば満足、(3)どちらともいえない、(4)どちらかといえば不満、(5)不満 (1)、(2)選択数をカウントし、満足度を測定 ※分からない、無回答はバス利用者・利用希望者とみなさず分母に含めない	%	目標値				50.0	50.0	50.0
				実績値		48.1	33.3	46.5	43.0	39.2
花巻空港年間利用者数	空港の利用状況を示す指標(岩手県で掲げる空港利用促進の目標値)	乗降客数(岩手県利用促進協議会資料)	人	目標値				404,000	404,000	404,000
				実績値	302,548	334,316	382,446	396,969	399,427	417,130

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	■成果指標「公共バス(市運営、民間運営)の利便性に満足している市民の割合」…【達成度c】 ・現在の路線バス等について、アンケート回答者の使いたい時間帯や路線がない、又は少ないことが要因と考えられる。 ■成果指標「花巻空港利用者数」…【達成度a】 ・平成26年度から運航されてきた台湾との国際定期チャーター便は、平成28年度秋季から運航が見送られたものの、空港利用者数(乗降客数)は、6年連続で増加するとともに、平成19年度以来の40万人を超える実績となった。要因としては、国内定期便の平成28年上期ダイヤにおいて、前年度同様の1日12往復が運航され、名古屋線が3便から4便に増便(一部冬期間を除く)されことにより、座席数が増加し利便性が向上したものと考えられる。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	公共交通確保対策事業	都市政策課	A	B
	市営バス・大迫公共施設連絡バス運行委託、市街地循環バス・大迫花巻連絡バス・中部病院連絡バス・予約応答型乗合交通運行補助			
1-2	公共交通確保対策事業	都市政策課	A	B
	民間路線バス運行補助			
2	都市施設機能改善事業	都市政策課	B	-
	新花巻西側駐車場の舗装整備及び適正管理(有料化)			
3	空港利用促進事業	観光課	A	B
	岩手県空港利用促進協議会等の活動への支援、協力 (航空会社や国等への要望 6回、関係団体との協議・検討会等 10回)			

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> バス事業は、必要経費に比して利用者が著しく少ない状況にあり、赤字補てんのために多額の補助金を交付している。 <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新花巻駅前無料駐車場の未舗装の敷地が残っていることから必要な整備を進め、利便性を高めるとともに利用者に対し適正な利用を促す必要がある。 公共交通に関するわかりやすい情報発信により利用促進を図る必要がある。 <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利便性の向上と利用者数の増加を目指し、石鳥谷地域及び東和地域への当日予約ができる予約応答型乗合交通の展開に取り組む。 市内観光情報等とタイアップした親しみやすいバスマップ等を作成、配布する。 新花巻駅前無料駐車場の舗装整備し、利便性を高めるとともに低廉な料金で利用できるよう改善する。

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> バスや予約応答型乗合交通の利用者は増加しておらず、利用促進を図ることが必要。 市街地循環バスは2車両運行を実施する方針であるが、バス事業者の運転手不足の深刻化により実現に至っていない。 国内定期便は、例年、冬期間の利用率の落ち込みが著しい。また、国際線については、平成28年度春季以降、定期チャーター便は運航されていない。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> H29年度策定の花巻市地域公共交通網形成計画に基づき計画的に対応策を実施するとともに、地元との協議、説明を積極的に行う。 空港の利用促進を図るためのキャンペーンや路線、便数の拡大に向けた活動及び国際チャーター便等の誘致に向けた取り組みについて、県、県空港利用促進協議会等の行う活動へ積極的に協力する。
